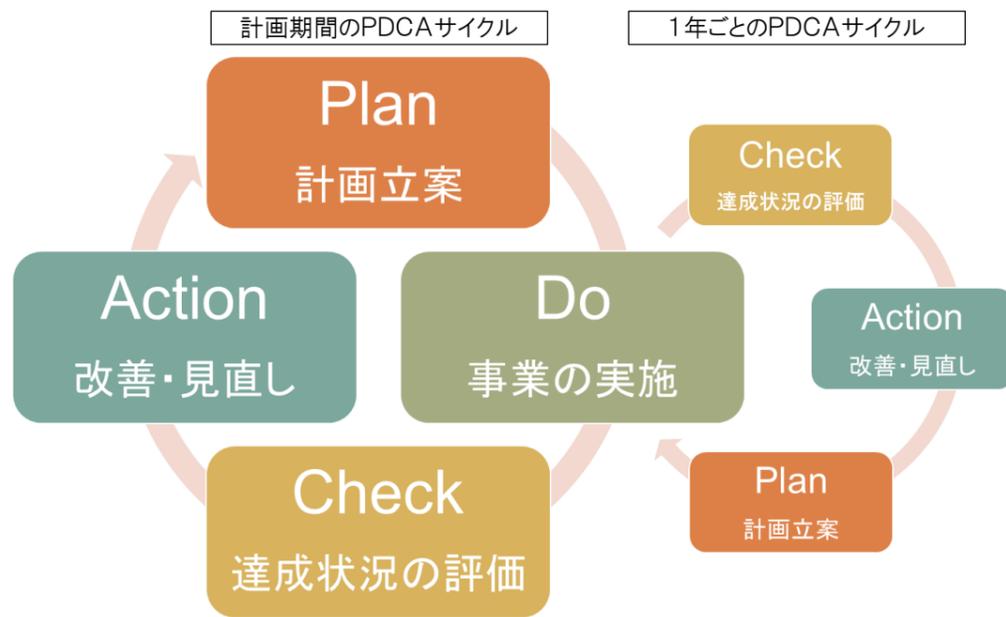


1. 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況確認について

平成27年4月に策定した「黒部市地域公共交通網形成計画」は、平成27年度から平成31年度を計画期間としている。平成28年3月14日には、北陸新幹線の開業1周年を迎え、観光やビジネスでの流動に良い影響を実感しつつあるが、開業2年目以降、この開業効果を持続するため、今後も事業を着実に進めていく必要がある。

黒部市地域公共交通網形成計画の実施にあたっては、計画に基づく事業の実施状況、目標指標の達成状況を定期的に確認・評価・検証を行い、改善や見直しを図るPDCAサイクルに基づき進捗管理することとしている。



確認・評価・検証にあたっては、1年ごとのPDCAサイクルと計画期間全体のPDCAサイクルによる二輪のサイクルを組み合わせる進捗管理を行う。また、黒部市においては、北陸新幹線開業やまちづくりの進展に伴い公共交通環境が劇的に変化することから、1年ごとのPDCAサイクルを着実に実施し、必要に応じた計画の見直しを行う。

	計画期間のPDCA	1年ごとのPDCA
P(計画)	地域公共交通網形成計画の策定	各路線の運行計画、利用促進策、個別事業の実施計画策定
D(実施)	計画に基づく各種事業の実施	各路線の運行、個別事業の実施
C(評価)	事業実施による目標指標の評価	運行状況、利用状況の評価 事業実施効果の評価
A(改善)	地域公共交通網形成計画の見直しの検討	運行計画、利用促進策、個別事業計画の見直しの検討

2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1) 黒部市内公共交通の概要

黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道及び市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じたバス路線、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されている。

市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行する。平成26年度末から平成27年度中に新設された駅や公共交通路線は以下の通り。

- ・富山地方鉄道 新黒部駅 (平成27年2月26日開業)
 - ・北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅 (平成27年3月14日開業)
 - ・路線バス 新幹線市街地線 (平成27年3月14日運行開始)
 - ・コミュニティバス 石田三日市線 (平成27年9月25日運行開始)
 - ・村椿、大布施、荻生地区におけるデマンド交通 (平成27年11月10日運行開始)
- ※黒部宇奈月温泉駅とYKKセンターパークを結ぶ無料バス路線YKKセンターパーク線も運行されている。(今年6月から魚の駅「生地」まで延伸し、新幹線生地線として運行開始予定)

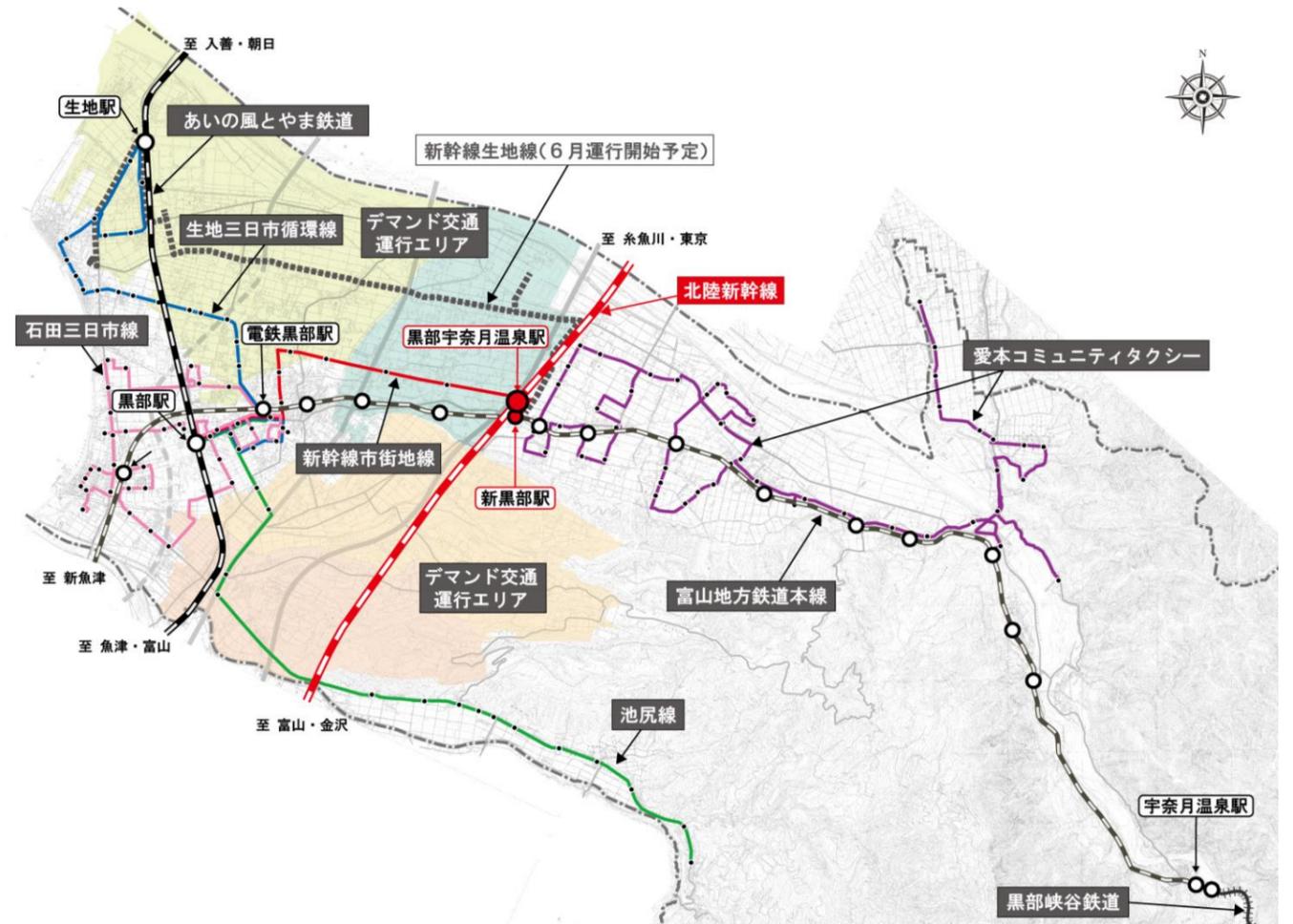


図 黒部市の公共交通網(平成28年3月末時点 予定路線含む)

(2)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

- ・実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査
- ・実施時間：6時～22時台（終電到着後一定時間まで）
- ・調査した日の多くで、一日あたりの利用者数が2,000人を超える結果となった。調査日の平均では、一日あたりの利用者数が2,604人となった。
- ・平日は、ビジネス乗降割合が多く、40～50%程度となった。
- ・8月12日と11月1日及び15日には、一日あたりの利用者数が3,000人以上となった。

調査日 【天候】	乗車人数(人)		降車人数(人)		利用者数(人)		ビジネス 乗降割合	備考
	うち ビジネス		うち ビジネス		うち ビジネス			
6月25日(木) 【晴れ】	404	874	432	1,089	836	1,963	42.6%	・2団体(約80人)
6月28日(日) 【雨】	138	1,397	202	1,522	340	2,919	11.6%	・2団体(約100人)
8月12日(水) 【曇り】	93	1,356	98	2,278	191	3,634	5.3%	・2団体(約60人)
10月27日(火) 【晴れ】	—	1,195	—	1,085	—	2,280	—	・富山県調査による数値
11月1日(日) 【晴れ】	77	1,675	38	2,114	115	3,789	3.0%	・11団体(405人)
11月15日(日) 【曇り】	—	1,490	—	1,636	—	3,126	—	・富山県調査による数値
11月19日(木) 【曇り】	504	1,116	487	949	991	2,065	48.0%	・3団体(105人)
2月4日(木) 【晴れ】	424	738	370	626	794	1,364	58.2%	
2月14日(日) 【曇り】	99	1,185	108	1,115	207	2,300	9.0%	・3団体(66人) ※強風のため、サンダーバード及びしらさぎの一部が運休
一日あたり平均	248	1,225	248	1,379	496	2,604	—	

※ビジネス客の判定は、服装や持ち物を目視し判定。人数は乗降人数の内数

(3)【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅における一日平均利用者数は、平成26年度に大きく減少しており、平成25年度比で86.9%となっている。
- ・平成26年度中の利用については、平成27年3月13日まではJR北陸本線の利用者数、3月14日以降はあいの風とやま鉄道の利用者数となるが、JR北陸本線のみ利用者数をみても前年度より大きく減少している。
- ・JR北陸本線県内駅の日あたり利用者数推移を見ると、平成26年度は県内全ての駅で利用者が減少している。人口減少よりも大きな利用者数減となっていることから、人口減少を含めた複合的な要因があったと考えられるが、要因の特定には至っていない。
- ・平成27年度以降は、あいの風とやま鉄道への経営移管による特急列車廃止等の影響が出てくると考えられることから、今後の利用者数の維持に向けた取り組みが必要である。

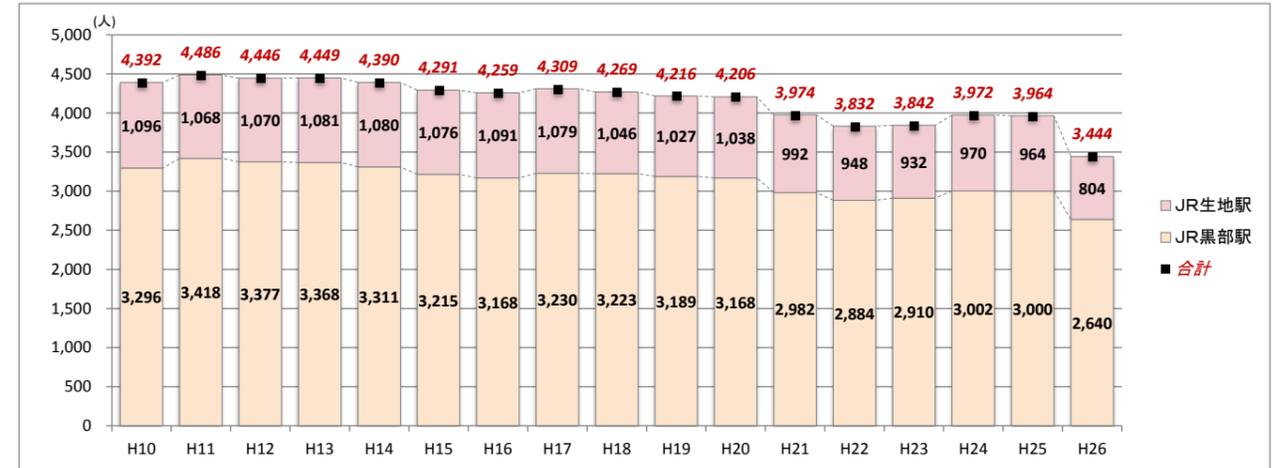


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の日あたり利用者数(乗降客数)の推移
(出典:平成27年3月13日まではJR西日本、平成27年3月14日以降はあいの風とやま鉄道)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H25H26対比
石動	3,467	3,226	3,153	3,214	3,180	3,138	2,782	84.3%
福岡	2,347	2,178	2,177	2,185	2,148	2,211	1,855	79.7%
西高岡	1,191	1,194	1,196	1,183	1,227	1,243	1,057	80.8%
高岡	15,728	15,020	14,928	14,978	15,013	15,036	14,239	90.0%
越中大門	1,559	1,569	1,640	1,584	1,563	1,622	1,535	90.0%
小杉	6,365	6,180	6,119	6,111	6,300	6,348	5,633	84.4%
呉羽	3,475	3,436	3,490	3,339	3,438	3,450	3,077	84.8%
富山	33,397	32,052	31,736	31,578	31,532	31,934	30,241	90.0%
東富山	2,805	2,657	2,679	2,715	2,837	2,913	2,523	82.3%
水橋	2,180	2,109	2,130	2,149	2,129	2,135	1,793	79.9%
滑川	2,968	2,900	2,855	2,794	2,771	2,826	2,567	86.3%
東滑川	329	329	322	301	292	301	258	81.4%
魚津	5,289	5,066	4,995	4,871	4,967	5,134	4,622	85.6%
黒部	3,167	2,982	2,883	2,918	3,001	2,999	2,662	84.4%
生地	1,038	991	948	935	969	964	803	79.2%
西入善	447	473	437	435	435	441	374	80.6%
入善	2,230	2,164	2,175	2,197	2,204	2,144	1,857	82.4%
泊	1,518	1,447	1,461	1,491	1,474	1,491	1,262	80.5%
越中宮崎	75	76	69	77	76	70	58	78.6%
合計	89,577	86,048	85,395	85,055	85,556	86,401	79,197	87.1%

表 JR北陸本線県内駅の日あたり利用者数の推移

(出典:JR西日本(※平成27年3月13日まで))

※元資料は乗車人数のみの統計値のため、乗車人員×2=利用者数として加工・集計した

(7)【路線バス】石田三日市線の利用状況

- 石田三日市線の一日あたりの利用者数は、無料体験乗車期間（10月末まで）以降に一旦落ち込んだものの、その後は増加傾向にある。
- 南ルートの利用が多いが、北ルートの利用も少しずつ増加している。
- 年間の利用状況推移を注視し、必要に応じて改善策を検討する必要がある。

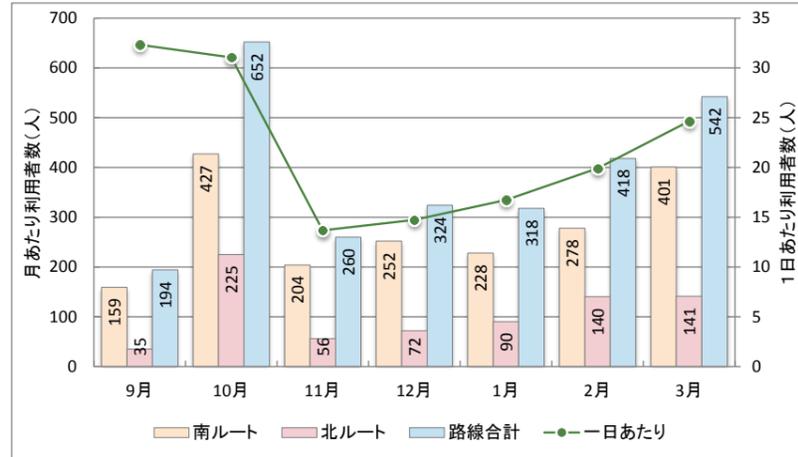


図 石田三日市線 利用者数推移

(8)【路線バス】池尻線の利用状況

- 池尻線は、月毎の利用者数増減が大きい。前年度は、利用者数基準値を下回る月が多かったが、平成27年度は、利用者数が増加し、基準値を上回る月が多くある。

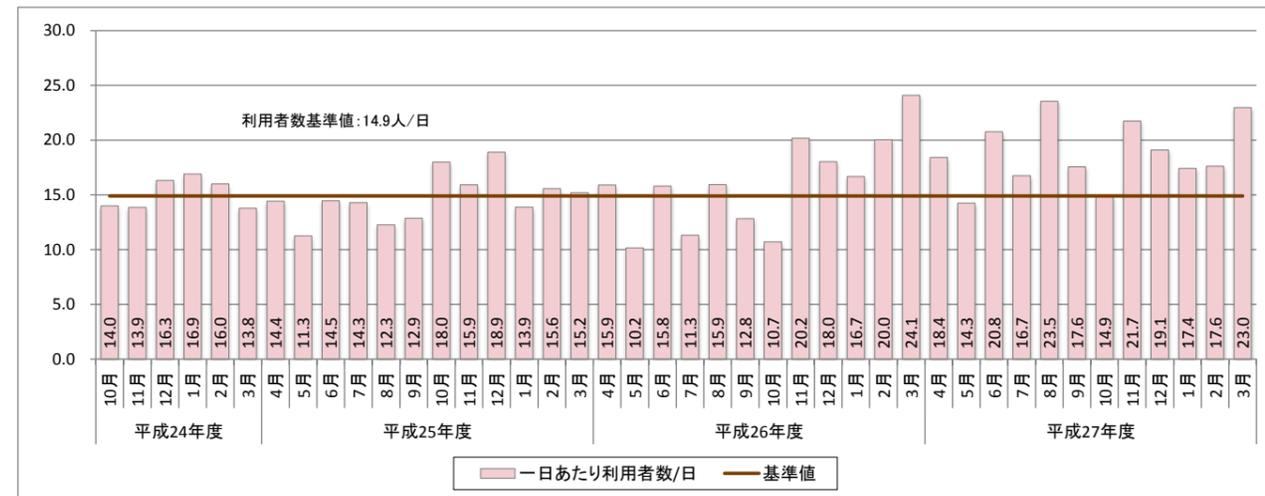


図 池尻線 利用者数推移

※利用者数基準値：平成23年10月～平成24年3月の利用者数(推計):2,718人より、平均利用者数を推計した値

(9)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- 平成27年度の一日あたりの利用者数は、概ね堅調に推移している。
- これまでの運行では、10月から3月にかけて利用者数が増える傾向にある。平成27年度はやや少ないが、暖冬により積雪が少なかったことの影響も想定される。
- 平成27年度は、平成26年度の利用とほぼ同程度の利用で推移する。
- 愛本本線（サポート便・若栗区間含む）は月間利用者数が200人以上で安定的に推移する。
- 毎年7月前後に利用が減少する傾向にある。

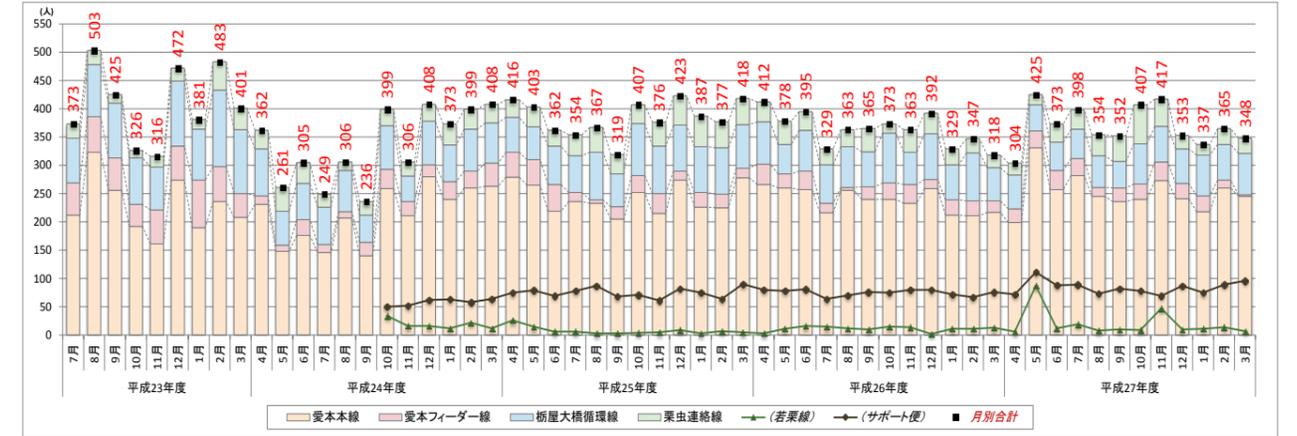


図 愛本コミュニティタクシー 利用者数推移

(10)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(田家・前沢地区)の利用状況

- 平成27年度の一日あたり利用者数は、平成26年度と同程度となり、平成25年度と比較すると少ない。
- 田家地区では、6月の落ち込みが大きく、以降の月では前年対比で増加している。全体としては利用者数が減少傾向にある。

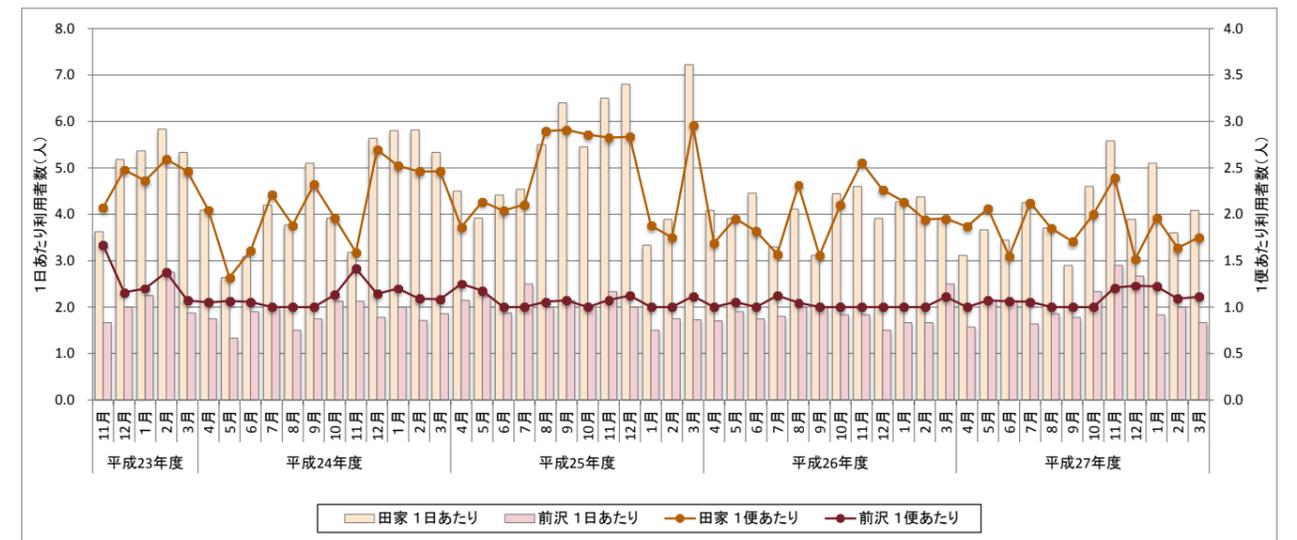


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 利用者数推移

(11)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(村椿・大布施・萩生地区)の概要と利用状況

- 開業（平成27年11月）からまだ日数が少なく、傾向の判断は難しい。
- 1月あたりでは村椿・大布施地区の利用が多いが、運行日一日あたりの利用者数は村椿・大布施地区と萩生地区に大きな差は無い。

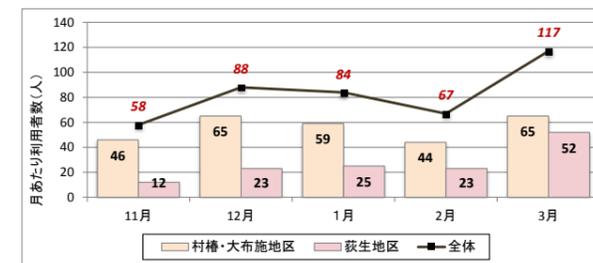


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・萩生地区) 利用者数推移

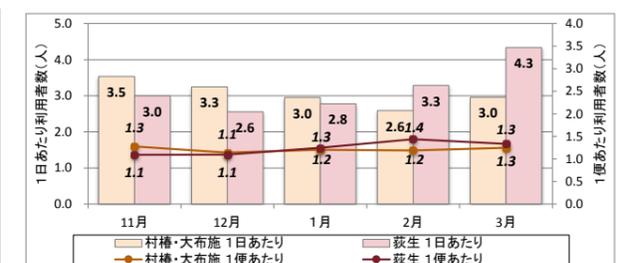


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・萩生地区) 1日・1便あたりの利用者数推移

3. 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況

黒部市地域公共交通網形成計画に位置付けられた27の事業について、事業体系ごとに進捗状況を整理する。総論として、位置付けられた事業は着実に実施、または実施に向けた計画検討段階に入っている。

体系① 新幹線開業効果をもつ公共交通網の形成

・体系①に位置付けられた事業は、別事業への転換を行う「にいたく」を除き、計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
1 新幹線市街地線の運行	事業中	・計画通り「新幹線市街地線」として運行開始。 ・周辺市町がアクセスバスを運行したこと等により、利用状況が予測を下回っており、改善が必要。
2 新幹線駅と生地地区を結ぶアクセス路線バスの運行	事業中	・無料シャトルバス「YKKセンターパーク線」として、実験的に運行開始。 ・今後、路線の一部見直しにより、魚の駅「生地」や生地駅へのアクセスを確保しつつ、生活路線としての需要が見込めるようにバス停を設置し、有料化して運行予定。
3 新川地域観光周遊タクシー「にいたく」の運行	別事業に転換検討 運行の必要性が低いと判断	・運行形態を見直しつつ、3年間に渡って運行を行い、一定数のサンプルを得たものの、公共交通としての運行の必要性が薄いと判断。 ・2次交通を活用した観光商品作りに助成するなどのサポートを検討。
4 宇奈月温泉及び新幹線駅と立山黒部アルペンルートを結ぶ乗合バス路線の運行	事業中	・計画通り「宇奈月温泉立山室堂線(アルペンライナー)」として運行を開始。 ・平成28年度も継続して運行。

体系② まちづくりと連動した地域公共交通網の形成

・体系②に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
5 生地三日市循環線の運行と定期的な改善	事業中	・継続して運行中。 ・特に問題なし。
6 石田地区における通勤バス計画と運行	事業中	・計画通り「石田三日市線」として運行開始。 ・運行後間もないことから、今後の利用状況を注視。
7 村椿・大布施・荻生地区におけるデマンドタクシーの新規導入	事業中	・計画通り「デマンドタクシー」として運行開始。 ・運行後間もないことから、今後の利用状況を注視。
8 愛本コミュニティタクシーの運行改善	事業中	・継続して運行中。 ・利用者数がやや減少傾向にあることから、今後の利用状況を注視。
9 田家・前沢地区におけるデマンドタクシーの運行	事業中	・継続して運行中。 ・利用者数が減少傾向にあることから、今後の利用状況を注視。

体系③ 公共交通利用環境の整備

・体系③に位置付けられた事業については、計画検討中の事業が多いが、平成28年度以降、具体的な事業を実施する予定としている。

事業名	進捗状況	概況
10 宇奈月温泉駅周辺地区の歩行環境整備	計画検討中	・歩行環境整備については、地域との連携方式を検討中。
11 バス待合環境の改善	事業中	・停留所案内板の再整備を実施。 ・待合環境の改善を図るためのバス停整備は、対象となるバス停と検討中。平成28年度以降実施設計予定。
12 駅施設の修繕・改善	計画検討中	・宇奈月温泉駅バリアフリー化の手法等を検討中。
13 環境配慮型車両やバリアフリー車両の導入	計画検討中	・適用路線、車両について検討中。
14 車両のデザイン化促進	事業中	・新幹線市街地線、石田三日市線、6月運行開始予定の新幹線生地線のバス車両のラッピングデザイン化を実施。
15 パーク&ライド駐車場の整備	計画検討中	・必要に応じてパーク&ライド駐車場の整備し、鉄道利用環境の向上を図る。

体系④ 公共交通利用時の利便性向上

・体系④に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
16 交通情報提供システムの導入と運用	事業中	・新幹線市街地線、石田三日市線、6月運行開始予定の新幹線生地線へのバスロケーションシステム導入や、黒部宇奈月温泉駅、黒部駅、電鉄黒部駅、黒部市民病院、黒部市役所へのデジタルサイネージ設置を行った。 ・今後も路線や施設の整備状況や必要性に応じて、導入を図る。
17 乗継ぎ利便性の確保	事業中	・北陸新幹線やあいの風とやま鉄道のダイヤ改正に合わせ、関係路線のダイヤ改正を行っている。 ・今後もダイヤ改正やその他の必要な機会に合わせ、関係路線のダイヤ改正を行い、乗継ぎ利便性の確保を図る。

体系⑤ 公共交通の利用促進

・体系⑤に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
18 公共交通情報提供ホームページの運営	事業中	・「公共交通で行こう！」ホームページを運営し、継続的に最新の情報更新に努めている。また、様々な媒体でホームページの周知に取り組んでいる。
19 企画切符の発行	事業中	・くろワン切符や周遊パスなどの企画乗車券を発行している。
20 公共交通マップの作成	事業中	・市内公共交通の情報や、それぞれの路線の乗車方法、ICカードの使い方等の解説を記載した公共交通マップを発行している。
21 モビリティマネジメントの実施	事業中	・路線バスやコミュニティ交通の乗車体験会、公共交通に関する出前講座などを実施しており、引き続き、利用促進に努める。

体系⑥ コンパクトなまちづくりの推進

・体系⑥に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
22 住宅取得支援補助事業の推進	事業中	・住宅取得支援補助事業を継続して推進している。
23 都市機能集積の推進	事業中	・市役所新庁舎への移転、パッシブタウンの第一期完成等、都市機能の集積が着実に進んでいる。

体系⑦ 公共交通に関する調査・計画・評価検証

・体系⑦に位置付けられた事業は、概ね計画通り事業中である。

事業名	進捗状況	概況
24 新幹線の利用状況調査	事業中	・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅において、定期的に乗降調査を行った。
25 新たな交通システムの導入に向けた実証実験、導入可能性調査、計画検討	計画検討中	・新たな交通システムの導入に向け、市民の移動ニーズ調査、システムの設計、実証実験等の実施方法を検討した。平成28年度中の調査及び実証実験の開始を目指す。
26 公共交通の評価、検証	事業中	・運行状況を把握し、計画のフォローアップを行っている。
27 市民意見の聴取、アンケート調査の実施	事業中	・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用者に対してアンケート票を配布し、利用状況や満足度等を把握した。